

2. 取組の進捗状況

【取組4】地域創生を目指した大学・自治体・企業連携の推進

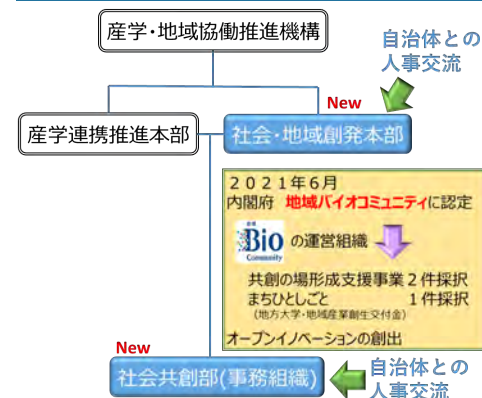
令和3年度
自己評価



令和3年度の実績 体制強化 連携推進

- 産学・地域協働推進機構を改組し、北海道の強みを活かした産学官の共創による**コンソーシアム型オープンイノベーションを推進するためのコーディネート組織「社会・地域創発本部（S-RED）」**（申請時の仮称は「未来共創推進本部」）を創設（令和4年4月）
- 併せて**事務組織「社会共創部」**も新設し、各組織に**企業及び自治体（北海道、札幌市、岩見沢市）等の人員を受け入れ、多様な人材による協働体制**を整備
- 内閣府より**地域バイオコミュニティ**として認定された「**北海道プライムバイオコミュニティ**（北海道大学・北海道庁・北海道科学技術総合振興センターの3者ネットワーク機関）」を中核として、道内自治体・地域企業・道内他大学と連携。「誰もが農林水産業に従事したくなる憧れの北海道」を目指し、持続的・一次産業システムを中心とした市場拡大によるブランド確立取組を強化
- 文部科学省及びJSTによる「**共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）**」に地域共創分野（本格型）として「**こころとカラダのライフデザイン共創拠点**」、共創分野（育成型）として「**地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの形成拠点**」の**2拠点が採択**
- 内閣府「**地方大学・地域産業創生交付金**」に、函館市が申請（本学参画）した事業計画「**魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～**」が、**令和4年度交付対象事業として採択**

社会連携組織改革



共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）



令和4年度・令和5年度の計画 体制強化 連携推進

- 産学連携活動の大型化・コンソーシアム化を目指し、組織的かつ継続的な支援の確立に向けた取組を実施
- ・自治体・企業・他大学等と連携を促進し、**社会課題から新しい価値を創造する「場（コモンズ）」を形成**
- ・大学と自治体の人材交流を伴う連携による**新たなリエゾン人材の育成**
- ・異分野融合を推進する**産学官金地域連携拠点の形成**を推進
- 内閣府「**地域中核大学イノベーション創出環境強化事業（申請中）**」によりこれらの取組を加速化

まち・ひと・しごと（地方大学・地域産業創生交付金）



2. 取組の進捗状況

【取組5】寄附金（北大フロンティア基金）獲得体制の強化

令和3年度の実績

エルムの森プロジェクト

トップセールス

令和3年度
自己評価



- 2026年の創基150周年に向けて、**記念事業企画運営委員会を設置**
- 創基150周年記念事業の先駆けとして「**エルムの森プロジェクト**」を立ち上げ、卒業生・同窓会との連携のもと**トップセールスを令和4年3月から開始**。僅か1か月で約9百万円の寄附を獲得
- 「応援される・応援したくなる大学」を目指す広報のため、**北大フロンティア基金HPの構成や申込フォーム等を大幅に改善**
- アフターフォローを含む寄附金顧客データの管理徹底のため、**寄附金入金管理システムのカスタマイズを実施**
- 本学の特色のある研究を一般に広く周知し支援いただくため、**クラウドファンディングの全学的制度の設計準備を開始**
- ファンドレイザーと産学連携マネージャーが連携し、共同研究の実績を有する企業や同窓生が役員を務める**企業への訪問を積極的に行い**、効果的に寄附を獲得
- 寄附金収入全体が新型コロナウイルスの影響を受けて伸び悩む中、**北大フロンティア基金は、目標額（3.00億円）を大きく上回る4.01億円を獲得**

創基150周年記念事業企画運営委員会

委員長（総長）

記念事業 検討部会	記念式典 部会	記念誌 部会
広報部会	募金活動 部会	財務部会

座長（基金担当理事）

トップセールス、ファンドレイ
ザー増員、同窓会との連携強化



エルムの森に佇む札幌キャンパス最古の建物である旧昆虫学及養蚕学教室および旧昆虫標本室を保存改修し、**北海道ワイン教育研究センター棟として再生利用**することで、そのレガシーを未来のキャンパスにつなぐ事業



寄附者特典「都ぞ弥生」
北大農場伝承の技に基づき作られたハム・ソーセージと、余市果樹園産リンゴを原料にしたシードル。愛される寮歌「都ぞ弥生」の歌詞を各品名に冠したセット

令和4年度・令和5年度の計画

クラウドファンディング

創基150周年

トップセールス

- 令和3年度に始動した「**エルムの森プロジェクト**」について、卒業生・同窓会に加えて自治体や経済界を対象に**トップセールスを推進**
- 創基150周年記念事業に向けて作成する企業等訪問リストを基に、総長・理事・各部局の長による**トップセールスを開始**
- 返礼品・返礼活動**として、本学の有する資源を活用したフィールド体験型等、本学をより身近に感じられる魅力的なものを企画中
- クラウドファンディングの制度化・運用を開始**。専任の特定専門職員を1名増員し、SNSを活用した効果的な広報活動を展開
- 東京オフィスにファンドレイザーを1名増員**し、首都圏の企業訪問体制等を強化
- 卒業生の情報を大学が一元的に管理するシステムを構築**。同システム登録者に対して、効果的な情報発信を展開し、寄附を獲得
- 札幌市のふるさと納税制度「団体応援寄付金」の指定団体への申請等**、多様な寄附受入を推進

令和4年度、令和5年度は2026年の創基150周年記念事業に向けた基金収入拡大の加速期間と位置付けており、北大フロンティア基金については、**計画額の上方修正を行う。**

2. 取組の進捗状況

【取組 6】 雑収入（経営的收入）の拡大

令和3年度
自己評価



令和3年度の実績 アセットマネジメント ベンチャーキャピタル 社会連携

未来戦略本部の各部会を中心に、以下の取組を実施

○不動産等の有効活用

- ・保険調剤薬局に敷地を貸付するため、**公募型プロポーザル方式により公募・選定した契約候補者との協議を実施**

- ・「経営的收入部会（アセットマネジメントTF）」の提言を踏まえ、建築後50年以上が経過して入居率が低迷する一部の職員宿舎の廃止を決定し、さらに廃止予定の宿舎及びその用地活用方法を検討するための「**職員宿舎の基本方針（案）**」を策定

○北大ベンチャーファンド設立検討

- ・「経営的收入部会（ベンチャーキャピタルTF）」が、**外部ベンチャーキャピタルを活用した北大ベンチャーファンド（仮称）設立を提言**

○社会連携事業に係る包括的検討

- ・「社会連携事業検討部会」において、「**北海道大学の社会連携に関する基本方針**」を制定
- ・令和4年4月、**既存の広報室を広報・社会連携室に拡充・改組し、同室に社会連携チームを設置**
- 令和3年度は各部局等の収益事業が着実に成果を上げ、**計画額を上回る資金を獲得**

北海道大学未来戦略本部

（令和4年7月1日現在）

【検討事項】

喫緊の課題の解決に向け必要な対応・方策について検討するため、令和2年11月に設置。
（具体的な検討については部会の下に置くタスクフォース（TF）で検討。）

本部長（総長）

経営的收入検討部会

社会連携事業検討部会

産学連携強化TF

ベンチャーキャピタルTF

コンサルティング会社TF

大学債検討TF

アセットマネジメントTF

令和4年1月検討完了

後継部会を
検討中

※検討を完了した部会

DX検討部会
（令和4年4月解散）

SDGs推進検討部会
（令和3年7月解散）

大学院改革検討部会
（令和4年3月解散）

組織改革検討部会
（令和4年2月解散）

大学憲章策定検討部会
（令和3年7月解散）

令和4年度・令和5年度の計画 アセットマネジメント ベンチャーキャピタル 社会連携

○不動産等の有効活用

- ・公募型プロポーザル方式により**公募・選定した保険調剤薬局に敷地を貸付**
- ・廃止予定の宿舎敷地も含めた本学保有地について、**土地売却や貸付等、大学経営全体に資する活用方法を検討し、成案を得たものから順次実施**

○北大ベンチャーファンド設立

- ・外部ベンチャーキャピタルを活用した**北大ベンチャーファンド（仮称）設立**

○社会連携事業の具現化

- ・本学のブランド価値向上のため、ホームページやSNSなどに加え、報道機関を通じて**多様なスークホルダーを見据えた広報活動を展開**

令和4年度、令和5年度はアセットマネジメント等の取組成果に加え、社会連携事業の具現化（情報発信等）によって大学経営に対する一層の支持獲得が期待されることから、**計画額の上
方修正を行う。**

3. 交付金の活用状況

令和3年度（交付済：4億円）

令和4年度（交付見込：総額1億円【留保分：0.4億円】）

目的	交付年度	用途	金額 (単位：億円)	期待される効果
産学連携体制の戦略的強化	R3	産学連携マネージャー人件費、産学連携東京オフィス開設、組織設置に係る環境整備費等	0.85	- 産学連携マネージャー増員等の産学連携体制強化により、民間企業との共同研究収入、特許権実施等収入が増加 社会・地域創発本部の設置により、自治体・企業・他大学等との連携事業が推進されるとともに、これらをはじめとした北海道の強みを活かした産学官の共創によるコンソーシアム型オープンイノベーションが推進
	R4		0.25 【0.10】	
インキュベーションスペースの整備	R3	学内既存施設のリノベーション、産学連携施設の整備等	1.46	- 学内既存建物をリノベーションし、北海道のスタートアップ支援事業を加速させる中核施設「HX（エイチクロス）」を整備 - 令和4年度末に竣工予定である建物の一部に産学連携インキュベーション施設を設置。産学連携スペースの増大により、共同研究収入が拡大
	R4		0.05 【0.02】	
特許権実施等収入増を見据えた産学連携活動強化	R3	国内外に向けた特許出願費用、海外拠点形成費等	1.54	- 国内外特許出願を戦略的に進めることで、特許マーケティング活動を通じた特許権実施等収入が拡大し、さらにこれを呼び水とした共同研究収入が拡大 - 海外へのマーケティング活動を展開することによって、特許権実施収入が拡大、また海外での本学知名度が向上
	R4		0.59 【0.24】	
寄附金獲得体制の強化	R3	ファンドレイザー人件費、フロンティア基金HPの改修等	0.15	- 創基150周年記念事業に向けたトップセールス及びファンドレイジング機能や広報活動の強化による国内外の同窓生を中心とした個人や企業からの大口寄附の拡大 - クラウドファンディングを効果的に広報し、本学の特色のある研究を一般に広く周知することで寄附を拡大 - 卒業生情報を大学が一元管理するシステムを構築することで、卒業生・同窓会との連携を強化し寄附を拡大
	R4		0.11 【0.04】	

（【 】は留保分からの支出予定）

4. 大学収入の状況

< 民間資金獲得額 >

民間資金獲得額増加計画調書申請時

(単位：億円)

費目名	令和2年度 実績	令和3年度 計画	令和4年度 計画	令和5年度 計画	増加額 令和5ー令和2
産学連携による共同研究収入	20.05	21.00	23.00	26.20	6.15
受託研究、受託事業収入	7.76	8.00	8.10	8.30	0.54
寄附金収入	28.15	28.20	29.20	30.30	2.15
知的財産権等収入	1.41	1.80	2.00	2.20	0.79
雑収入(知的財産権等収入を除く)	16.27	16.30	16.60	19.20	2.93
民間資金獲得額(全体)	73.64	75.30	78.90	86.20	12.56



実績及び変更後の計画

(単位：億円)

費目名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和5年度 計画	増加額 令和5ー令和2
産学連携による共同研究収入	20.05	20.23	23.00	26.20	6.15
受託研究、受託事業収入	7.76	8.61	8.10	8.30	0.54
寄附金収入	28.15	25.29	27.54	30.30	2.15
知的財産権等収入	1.41	1.86	2.00	2.20	0.79
雑収入(知的財産権等収入を除く)	16.27	19.51	18.50	20.16	3.89
民間資金獲得額(全体)	73.64	75.50	79.14	87.16	13.52

4. 大学収入の状況

< 民間資金獲得額（内訳） >

民間資金獲得額増加計画調書申請時

（単位：億円）

「産学連携による共同研究収入」、 「受託研究、受託事業収入」、「寄附金収入」について	令和2年度 実績	令和3年度 計画	令和4年度 計画	令和5年度 計画	増加額 令和5ー令和2
産学連携による共同研究収入	20.05	21.00	23.00	26.20	6.15
（直接経費）	16.52	16.80	17.70	20.15	3.63
（間接経費）	3.53	4.20	5.30	6.05	2.52
受託研究、受託事業収入	7.76	8.00	8.10	8.30	0.54
（直接経費）	6.47	6.60	6.80	7.00	0.53
（間接経費）	1.29	1.30	1.30	1.40	0.11
寄附金収入	28.15	28.20	29.20	30.30	2.15
（北大フロンティア基金）	3.67	3.00	4.00	5.00	1.33
（その他の寄附金）	24.48	25.20	25.20	25.30	0.82



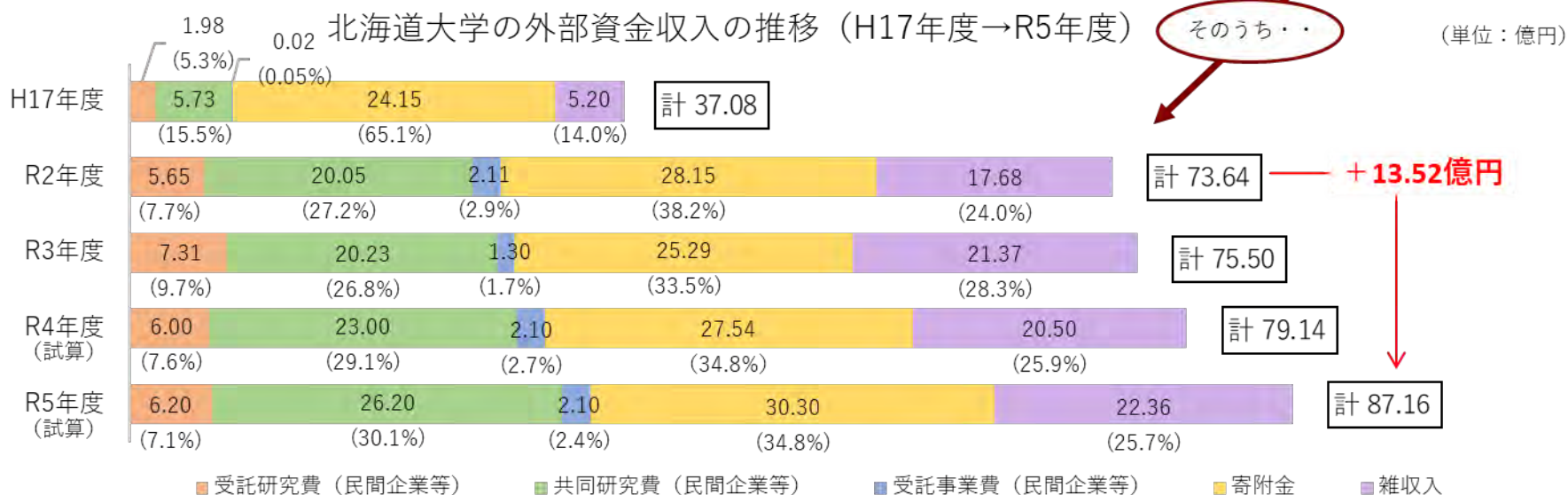
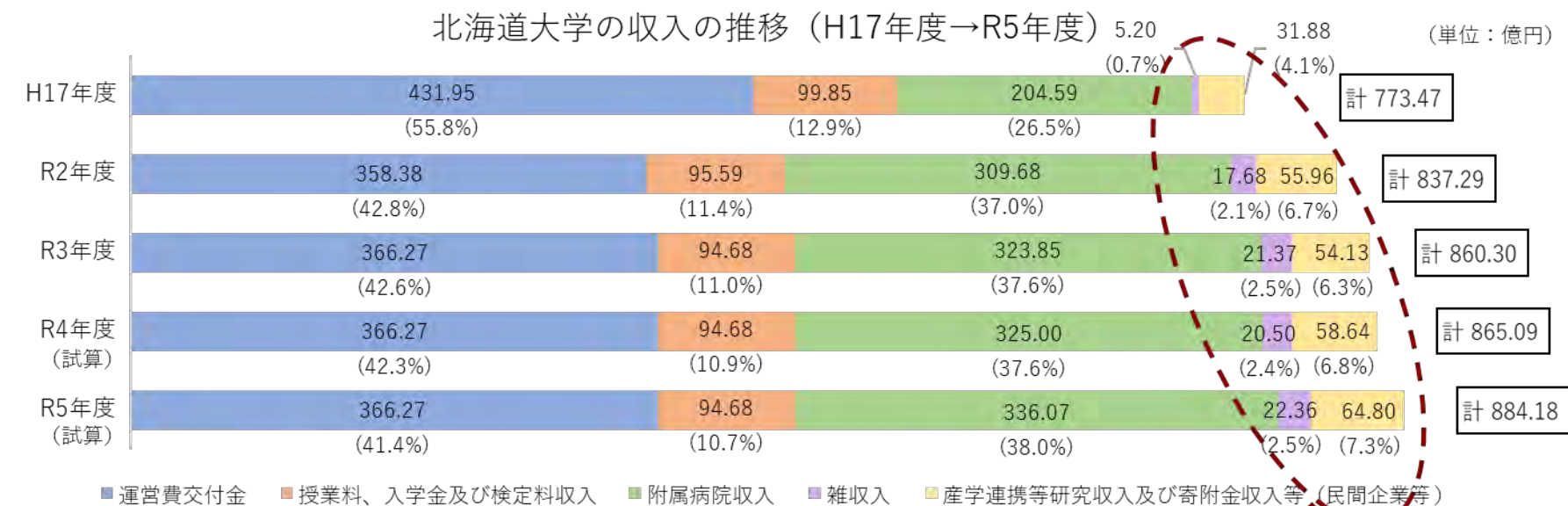
実績及び変更後の計画

（単位：億円）

「産学連携による共同研究収入」、 「受託研究、受託事業収入」、「寄附金収入」について	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和5年度 計画	増加額 令和5ー令和2
産学連携による共同研究収入	20.05	20.23	23.00	26.20	6.15
（直接経費）	16.52	16.50	17.70	20.15	3.63
（間接経費）	3.53	3.73	5.30	6.05	2.52
受託研究、受託事業収入	7.76	8.61	8.10	8.30	0.54
（直接経費）	6.47	6.93	6.80	7.00	0.53
（間接経費）	1.29	1.68	1.30	1.40	0.11
寄附金収入	28.15	25.29	27.54	30.30	2.15
（北大フロンティア基金）	3.67	4.01	4.50	5.50	1.83
（その他の寄附金）	24.48	21.28	23.04	24.80	0.32

4. 大学収入の状況

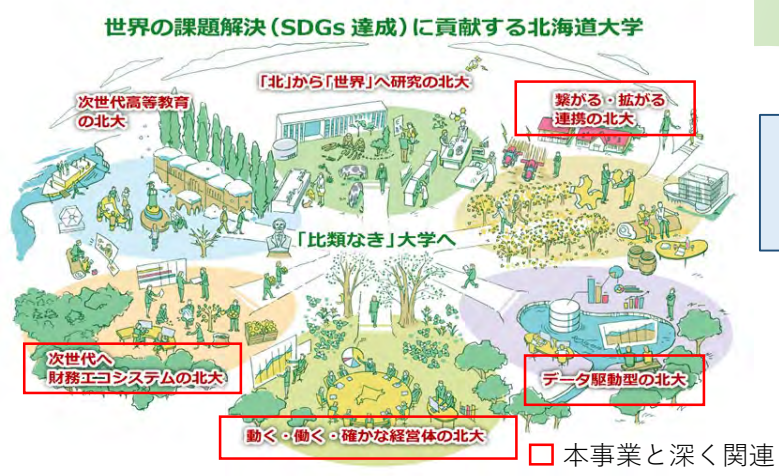
<実績及び変更後計画に基づく大学収入の見込み>



5. その他（計画実現のためのガバナンス強化、本事業の政策的効果）

「比類なき」大学への6つのビジョン

比類なき大学構想は、「世界的研究拠点」であると同時に「地域と共創する中核大学」とあるというハイブリッド型研究大学構想



令和3年10月、内閣府
国立大学イノベーション
創出環境強化事業の採択

比類なき大学へのビジョン
実現に向けた各種取組
が一層加速

□ 本事業と深く関連

ビジョン実現のためのガバナンス強化

- 明確な方向性の表明と構成員との共有
 - ・総長の部局訪問・直接対話（計50回あまり）
 - ・若手教員、女性教員、さらにはオンラインを用いて学生と対話
 - ・事務職員、URA職の副理事への任命
- 未来戦略本部による実行
 - ・喫緊の課題解決に向け、各検討部会をスクラップ&ビルドして実現案を迅速に提案・実行
- 社会連携活動の強化
 - ・地域の首長（北海道、札幌市他）や道内大学の学長との意見交換
 - ・ステークホルダー懇話会の定期実施（年4回）

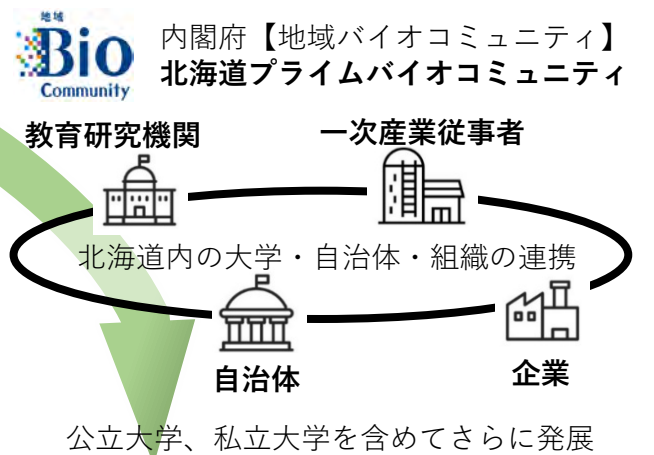
大胆で戦略的な大学運営推進

- ・国際戦略2040策定
- ・ダイバーシティ&インクルージョン宣言策定
- ・大学院教育推進機構設置
- ・データ駆動型融合研究創発拠点（D-RED）設置
- ・社会・地域創発本部（S-RED）設置
- ・北大ベンチャーファンド（仮称）設立
- ・民間資金獲得による経営基盤強化



地域イノベーションの起点としての国立大学

国立大学は地域産業創生のメインプレーヤーであり北海道における大学・地域連携加速の原動力



北海道ユニバーシティアライアンス構想へ

北海道
『新』産業創出
～大学を中核に、デジタル連携で産業構造を
変革し、現状の産業の
延長線ではない新産業
創出へ～

- 地域の優位性
- ① 1次産業の市町村の集積
 - ✓ 農業産出額，食料自給率
 - ✓ 漁業：漁獲量全国1位
 - ② 2次・3次産業の市町村の集積

- 社会実装を加速する
データ駆動型融合研究の推進
- ✓ 1次産業×情報
 - ✓ 土木インフラ×情報

- 地域データサイエンス・AI教育・高度デジタル人材育成の推進（道内16の大学・高専が参画する北海道データサイエンスネットワーク）

以下、参考資料